

第2期でしかがまち・ひと・しごと創生戦略

弟子屈町まちづくり政策課

はじめに

弟子屈町はひがし北海道の中心に位置し、西北面は高く険しい山並みがオホーツク地域に接し、東の山並みは根室高原に連なり、南は標茶町を経て釧路湿原に隣接しています。また、近隣には車で1時間30分圏内に3つの空港があり飛行機での交通アクセスに恵まれ、道東の自然を満喫したい観光客が多く訪れています。

本町は面積の65%が阿寒摩周国立公園内にあり、世界有数の透明度を誇る摩周湖の山麓に広がり、千島火山帯に属する高原地帯で、屈斜路湖を源とする釧路川が地域の中央を流れ、平地が少なく起伏の多い地勢です。

町名の弟子屈の由来は、アイヌ語で「テシカ・ガ（岩磐の上）」という意味になります。この場所は弟子屈町の中心市街地に位置しており、かつては釧路川がその岸を洗っていました。非常に岩の多い急流でしたが、同時に魚のたまり場のようなところでもあったため、アイヌの人達は何とかこの魚を獲りたいと網をかけようとしてきました。ところが、岩が多くついに杭を打ちこむことが出来なかったそうです。アイヌの人達は「せっかくたくさんいる魚をとる仕掛けもできない岩磐の上だ」と嘆いたそうです。弟子屈の語源はここから生まれました。

また、町内には数種類の泉質の『温泉』があり、日帰り入浴や自宅まで温泉を引くスタイルにより身近に温泉を味わうことができます。強酸性の硫黄泉の川湯温泉をはじめ、屈斜路温泉、和琴温泉、仁伏温泉、摩周温泉など多量の温泉が湧いています。



摩周湖



屈斜路湖



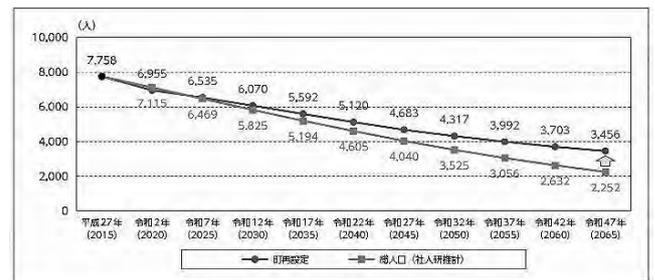
硫黄山

人口の推移

本町の人口は、昭和35（1960）年の13,262人がピークでしたが、その後減少が続き、平成27（2015）年には7,758人となっており、約5,500人の減少、41.5%の低下となっています。

ピークであった昭和35（1960）年以降、昭和60（1985）年までは増減を繰り返しながら比較的緩やかな減少が進んでいましたが、昭和の終わりから平成の初めにかけて起こったバブル経済とその崩壊以降、総人口の減少に拍車がかかり、現在まで続いています。将来人口を推計すると、令和27（2045）年における本町の総人口は4,683人となることを見込まれます。

また、令和47（2065）年では、総人口は3,456人となり、平成27年と比較すると約半分の人口になることを見込まれることから、これらの現状を回避するため、平成27年12月に策定した第1期に引き続き、令和4年3月に第2期「てしかが まち・ひと・しごと創生戦略」を策定し、さまざまな取り組みを行っています。



総人口の将来展望

※「第1期でしかが まち・ひと・しごと創生戦略」の取り組みの成果により、策定時の国立社会保障・人口問題研究所による推計値より、ここ数年続いている人口減少の進行も多少鈍化していることから、第2期での取り組みを強力に推し進め、改めて展望される将来人口の確保を見込んでいます。

創生戦略の位置付けと計画期間

(1) 創生戦略の位置づけ

本町の新たな創生戦略は、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2020改定版）の方向性を踏まえつつ、また、まちづくりの最上位計画である第6次総合計画との整合を図り、かつ重要な部分（※重点プロジェクト）として位置付けています。

(2) 計画期間

計画期間は、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度の4年間としています。

なお、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2020改定版）の計画期間は令和6（2024）年度までであり、それ以降国による新たな方針（第3期）が出された場合、総合計画の中間見直しとともに、創生戦略の中間見直しを行う予定です。

和 暦	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
西 暦	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
総合計画（町）	第5次（後期）		第6次（前期）				第6次（後期）			
創生戦略（町）	第1期（延長）		第2期（第6次総合計画に統合）				第3期			
創生総合戦略（国）			第2期				第3期			

計画期間

基本目標と具体的な施策

1 「まちづくり」プロジェクト～稼ぐ力の増強～

(1) 自然と共生した景感（景観）形成プロジェクト

街並み景観の統一に向け、市街地における景観に配慮した建築物の整備を促進し、魅力ある風景づくりのため、農業地における美しい自然景観と緑肥作付けなどによる農業景観の融和を創出します。

また、摩周湖とその周辺流域の環境保全に向け、摩周湖環境保全連絡協議会参加自治体との連携・協力により摩周湖水質調査の実施、その取り組みによる地域振興を推進します。



認定ガイドの同行必須の硫黄山（アトサヌブリ）トレッキングツアー

主な取り組み

- ・ Green Destinations（グリーン・デスティネーションズ）による「世界の持続可能な観光地トップ100」2023に選出された、てしかがえこまち推進協議会の「硫黄山トレッキングツアー」の実施。
- ・ 摩周湖モニタリングによる透明度調査。

(2) 川湯温泉街再生プロジェクト

川湯温泉街の再整備に向け、国立公園満喫プロジェクトに基づく廃ホテルの解体促進や、宿泊施設（ホテル）を誘致します。多様化する観光客のニーズに対応し、SNSの活用、ファンクラブの創設及び情報発信等により効果的なマーケティングとプロモーションを強化します。

また、滞在型観光の推進に向けたアクティビティの開発と充実、Wi-Fi設置の拡充や電子決済等の環境整備、多言語化情報発信を推進します。



川湯温泉街まちづくりマスタープランの景観パース

主な取り組み

- ・ 「湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街」を目指して、川湯温泉の特徴を生かした適正規模の温泉街を再構築するための「川湯温泉街まちづくりマスタープラン」を策定。
- ・ 廃ホテル解体後のホテル事業者等の誘致。
- ・ 自然や温泉を活かした施設整備やアクティビティ開発の推進。



川湯温泉街まちづくり
マスタープラン



YouTube弟子屈町
公式チャンネル
川湯温泉ニュース

(3) 中心街再構築プロジェクト

中心市街地へのコンパクトシティ化を進めるため、誘導施設となる新複合施設を整備し、令和8年度の供用開始を予定します。

また、住民及び観光客を市街地に誘導する仕組みづくり、町内店舗や商店街、街並みの改善により、地元での消費購買による地域内経済循環の促進を目指します。合わせて、コミュニティビジネスなどの育成に向け、チャレンジジョブ等の起業や出店体験しやすい環境を整備します。



基本設計時点の外観パース

主な取り組み

- ・図書館や温浴施設、プールなどを合わせた地域観光交流拠点施設（令和8年度供用開始）の建設。
- ・町内外から多様な人々が集う市街地のランドマークとなるよう、設計段階からの町民ワークショップ。
- ・町民一人一人が「私たちの施設」という当事者意識を持った施設づくりの推進。



弟子屈町中心市街地再構築事業



YouTube弟子屈町公式チャンネル
中心市街地複合施設について

2 「ひとづくり」プロジェクト

～多くの人を引き付ける魅力の向上～

(1) 人財育成活用プロジェクト

子育てにかかる経済的負担の軽減、育児の孤立や不安を解消するため、子育てに関する情報及び交流の場を提供します。

地域づくり活動を支援し、地域づくりの経験を持つ人材の育成、その人材が自主的に活躍できる機会を創出します。地域で活躍する人材、団体、地域を結ぶネットワーク化、ノウハウを持つ人材・団体・企業などの情報のデータベース化と活用を図り、弟子屈町が必要とする人材の移住につなげ、地域づくりの担い手として、都市部との地域間交流の推進、関係人口の増加など、移住・定住対策を促進します。



地域おこし協力隊が中心となって運営する井戸端交流会「てしかがコミュニTea」

主な取り組み

- ・子育て支援のため、出産後に赤ちゃんすくすく応援券（15万円分）の交付、18歳までの医療費や幼児教育・保育の無償化、小中学校・高校の給食無償提供等の実施。
- ・移住コーディネーターによる個別相談、オーダーメイド制移住体験プログラム等の実施、YouTube町公式チャンネルや移住専用公式LINEによる情報発信。
- ・移住者や移住希望者と町民が交流する「てしかがコミュニTea」の開催。



弟子屈町移住定住ポータルサイト



YouTube弟子屈町公式チャンネル
弟子屈町移住スタイル

(2) アイヌ政策推進プロジェクト

アイヌ民族の歴史や文化を伝える資料、展示機能の充実を図るとともに、屈斜路コタンアイヌ民族資料館施設の改修等を実施し、来館者増加に向け、一般来館者の利用のほか、児童生徒の学習にも幅広く活用される内容の充実を目指します。

主な取り組み

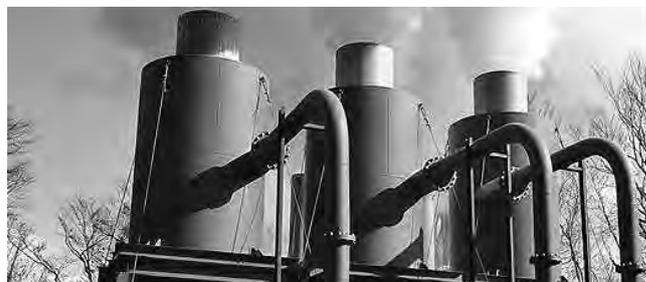
- ・屈斜路コタンアイヌ民族資料館のリニューアル事業計画の推進。
- ・一般来館者の利用に加えて、町内外の児童生徒の学習への利活用促進。

3 「しごとづくり」プロジェクト

～ブランドの再生・向上～

(1) 地熱活用プロジェクト

2050年カーボン・ニュートラルの実現に向けて、町内の温泉熱や地熱などの再生可能エネルギー資源の把握と、活用に向けた取り組みを推進します。



町内で行われた仮噴気試験

主な取り組み

- ・地熱発電資源量調査事業の継続、地熱発電事業運転開始に向けた関係機関との連携。
- ・温泉を利用した町内公共施設の温泉熱暖房への切り替え工事の実施。

(2) 地域特産品ブランド化プロジェクト

特産品の地域ブランドとしての定着へ向け、摩周メロン、摩周そば、摩周和牛、^{よびいろ}葡萄色の^{よあけ}且（ワイン）など既存特産品の安定生産と販路拡大を目指します。弟子屈産チーズの製造拠点の整備では、作り手となる技術者の確保を目指します。また、開発した製品は販売計画の検討を進め、町内外での販路の開拓を目指します。



令和6年8月8日にオープンした屈斜路カルデラワイナリー内の店舗

主な取り組み

- ・弟子屈チーズ工場の運営、商品の安定生産。
- ・屈斜路カルデラワイナリーの運営、商品の安定生産。
- ・摩周和牛の安定生産、新商品開発。
- ・各特産品の販路拡大に向けたプロモーション活動。
- ・都市再生推進法人に指定した町内のまちづくり会社テシカタウンラボによる地域ブランド化の推進。



YouTube弟子屈町
公式チャンネル
弟子屈チーズ工房



YouTube弟子屈町
公式チャンネル
屈斜路カルデラワイナリー

4 「くらしづくり」プロジェクト

～Society5.0推進のまち～

(1) ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト

住民のマイナンバーカード保有の推進により、地域社会のデジタル化を集中的に推進します。デジタル・ディバイド対策の推進に向け、行政手続・サービスの利用方法等に関する助言・相談等を実施し、窓口では適切な対応を行います。行政手続31項目については、マイナンバーカードによるオンライン手続を検討・推進し、弟子屈町DX計画の策定と、AI・RPA等のICTを活用した業務プロセスを検討します。

主な取り組み

- ・町公式YouTube、X、LINE等のSNSによる情報発信。
- ・DX計画策定に向けた検討。

(2) ウイズコロナ、アフターコロナプロジェクト

新型コロナウイルス感染症対策の徹底による感染リスクの低減を図ります。心の健康では、相談しやすい環境づくり、広報紙や講演会、学習会による「心の健康づくり」の知識普及を目指します。また、自殺死亡率の低下に向けた、ゲートキーパー等の人材育成の推進を目指します。

主な取り組み

- ・感染対策の周知徹底と予防接種体制の維持。
- ・保健師による心の相談やメンタルヘルス対策の実施。



YouTube弟子屈町公式チャンネル
弟子屈町役場では保健師を募集しています!

5 「行財政運営」プロジェクト

～財政健全化推進のまち～

(1) 財政安定化とふるさと納税プロジェクト

財政調整基金への積極的な積立や財源の重点的かつ効率的な配分と、多大な財政負担が発生しない財政健全化の推進を目指します。

また、ふるさと納税では、寄附件数及び寄附額の向上に向けた、返礼品の更なる充実や協力事業者の拡充、企業版ふるさと納税事業を推進します。

主な取り組み

- ・ふるさと納税返礼品の新規商品開発や協力事業者の拡大に向けたプロモーション活動。



弟子屈町ふるさと納税

おわりに

弟子屈町は、自然の豊かさと魅力があふれる素晴らしい街です。阿寒摩周国立公園内の川湯温泉街では、自然環境の保護と活用のバランスを取りつつ、美しい自然景観が広がる中での再整備を進めています。また、多くの自然に囲まれた森の中でさまざまな体験ができる施設整備を行う予定です。自然を活かした観光地としてのコンテンツ開発も行っています。

自然との共生、地域の活性化、そして地域コミュニティの結束力を高め、新たな挑戦や発展により今後もより良いまちづくりを継続します。